



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

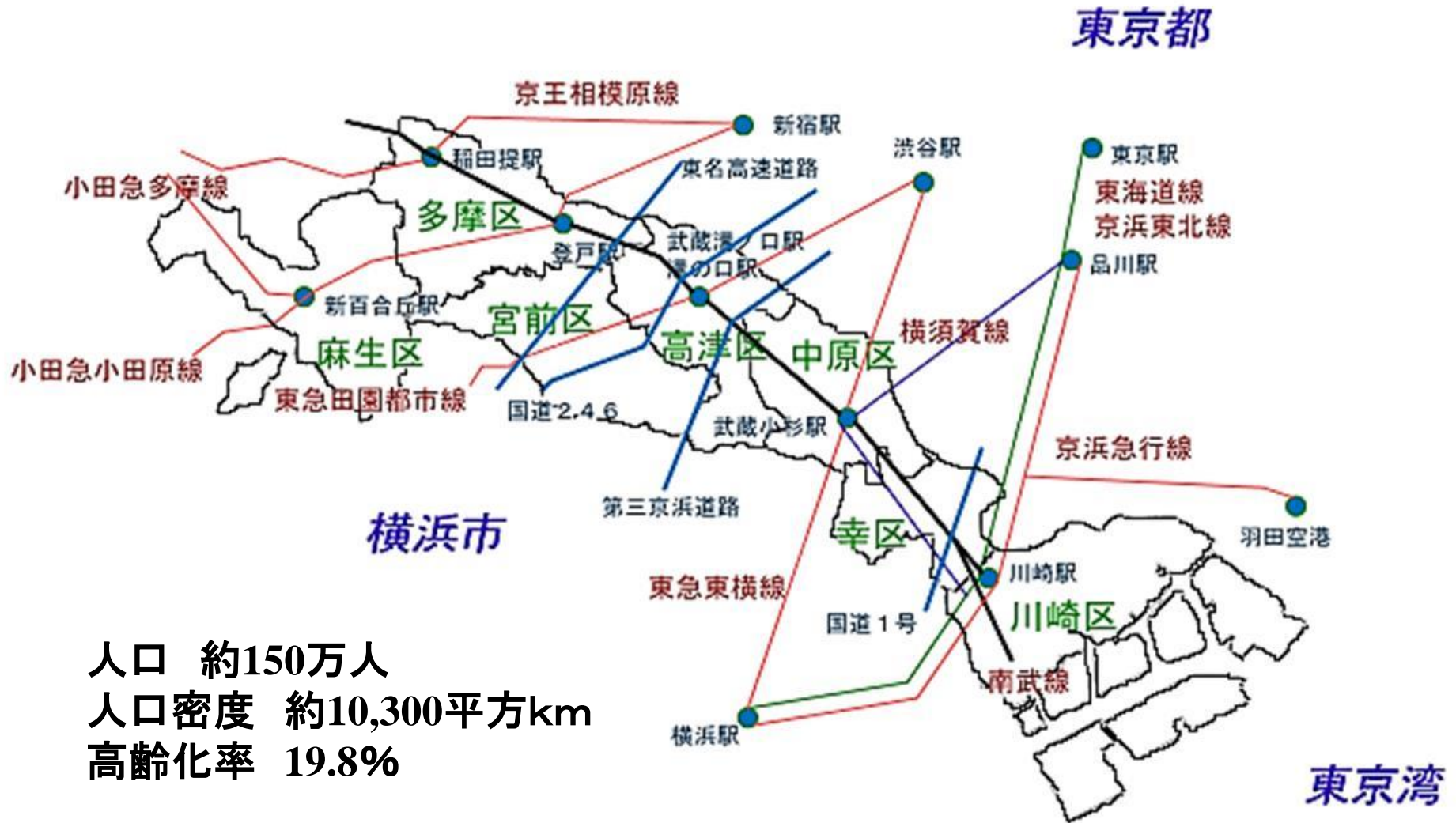
# 「変革の中で気づいたこと」 ～川崎市の取組の報告～

平成29年度「全国保健師長会 南関東・東京ブロック研修会」

平成29年9月30日

中原区役所地域みまもり支援センター  
地域支援担当課長 瀧 真由美

# 川崎市の概要



# 地域みまもり支援センターについて

◆地域包括ケアシステムの構築に向けて、「個別支援の強化」と「地域力の向上」を図り、「誰もが住み慣れた地域や自らが望む場で安心して暮らし続けることができる地域の実現」をマネジメントしていくことを目指し、平成28年度に区役所の組織を再編して「地域みまもり支援センター」を設置した。

## 【区役所に求められる“3つの機能”】

- ①総合調整機能
- ②地域支援機能
- ③専門的支援機能

これらの連携強化を図り、「自助・互助」の促進と「共助・公助」の適切な実施を図る！

積極的に地域に出向きます！

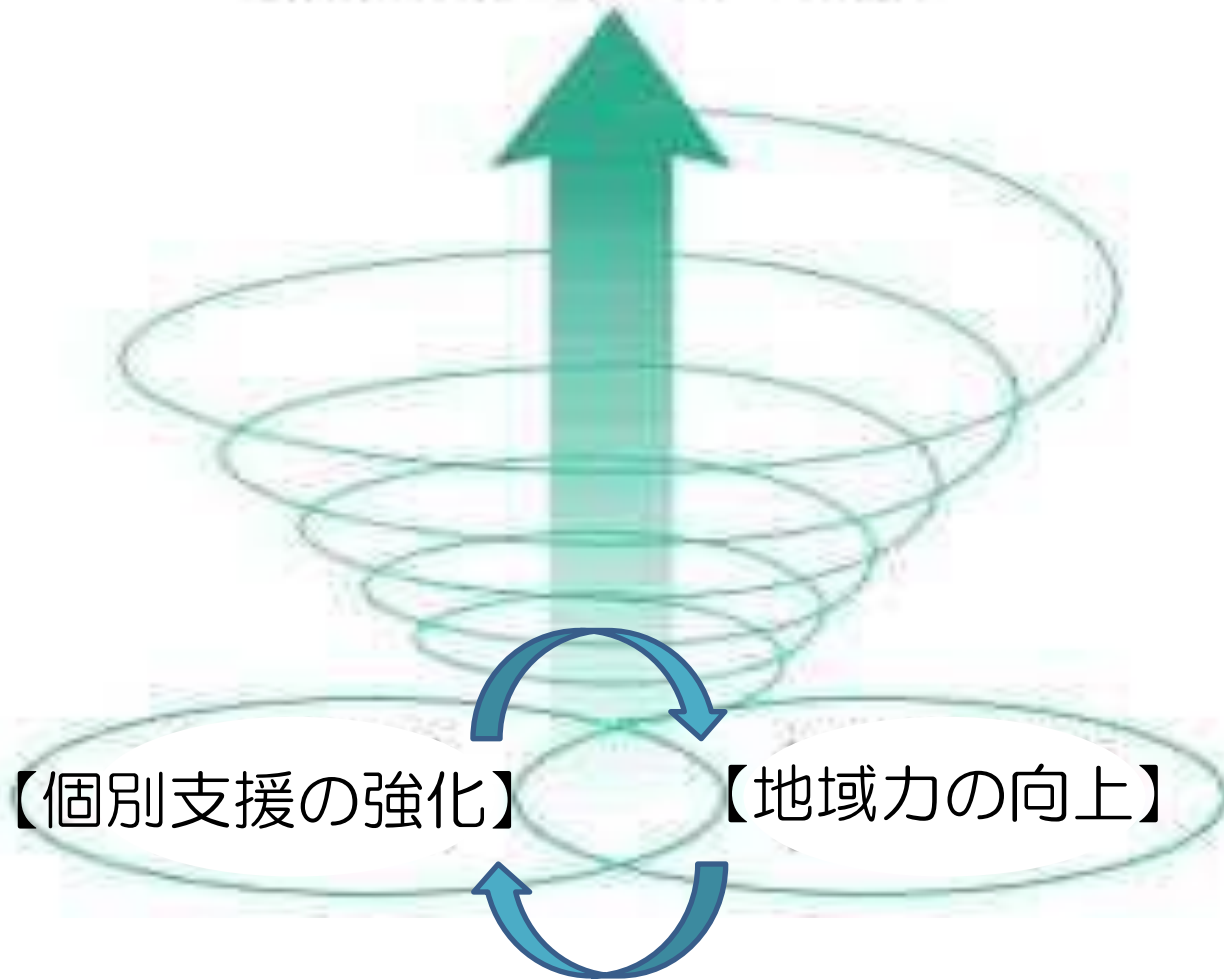


市内を40の地域に分け、それぞれ複数名の保健師を配置し、地域課題を把握するとともに、「個別支援の強化」と「地域力の向上」に取り組む。



# 個別支援と地域づくり

【地域包括ケアシステムの構築】



## 《主な組織改正の内容》 ～地域みまもり支援センターの設置～

平成28年4月から、新たに、保健福祉センターの中に「地域みまもり支援センター」を設置し、保健師等の専門職による個別支援と地域づくりを一体的に推進

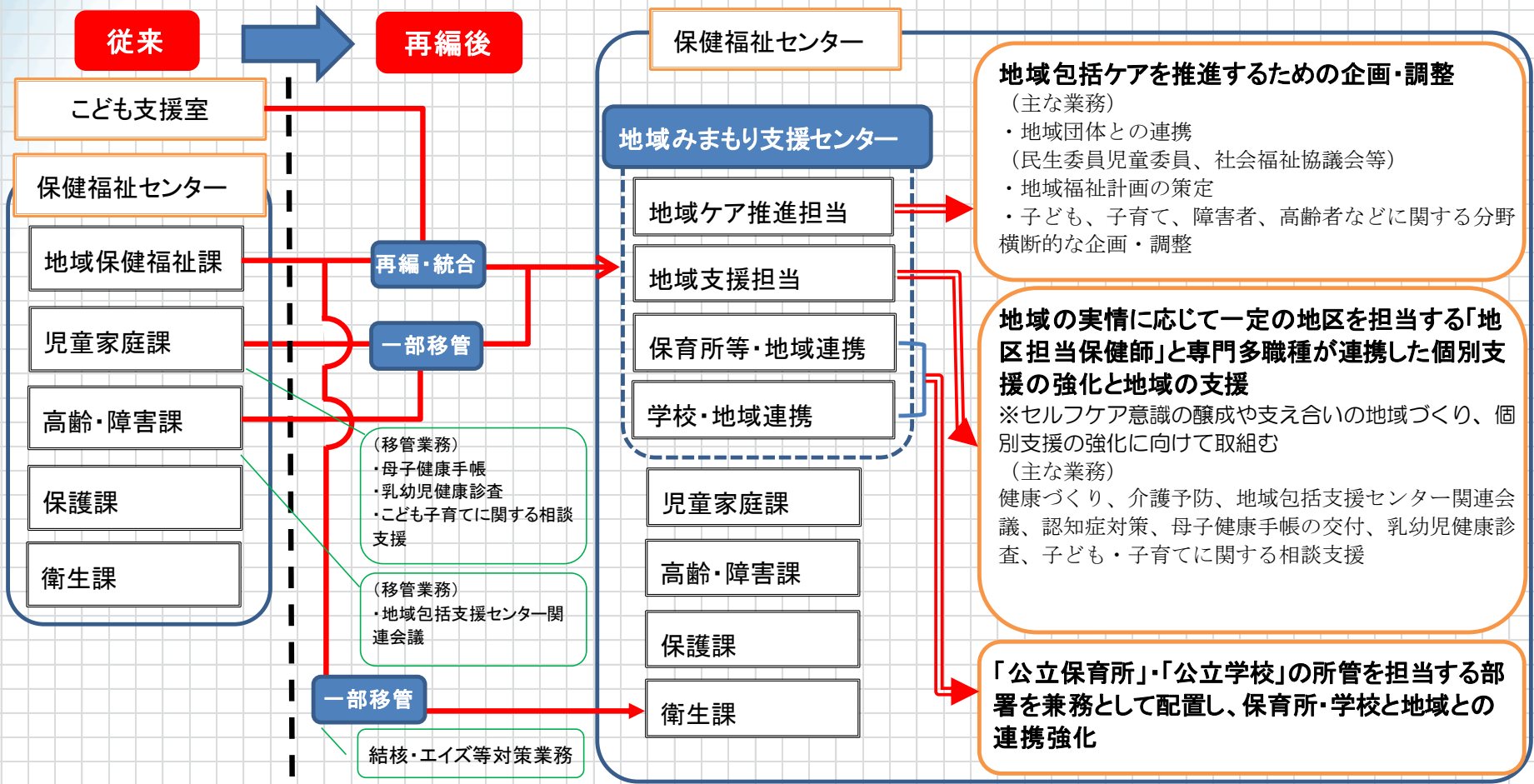
※従来の地域保健福祉課とこども支援室の機能を再編し、子どもから高齢者まで一体となった地域づくりを推進

※子ども・家庭に関する相談、手続き、窓口を「地域みまもり支援センター地域支援担当」と「児童家庭課」に再編

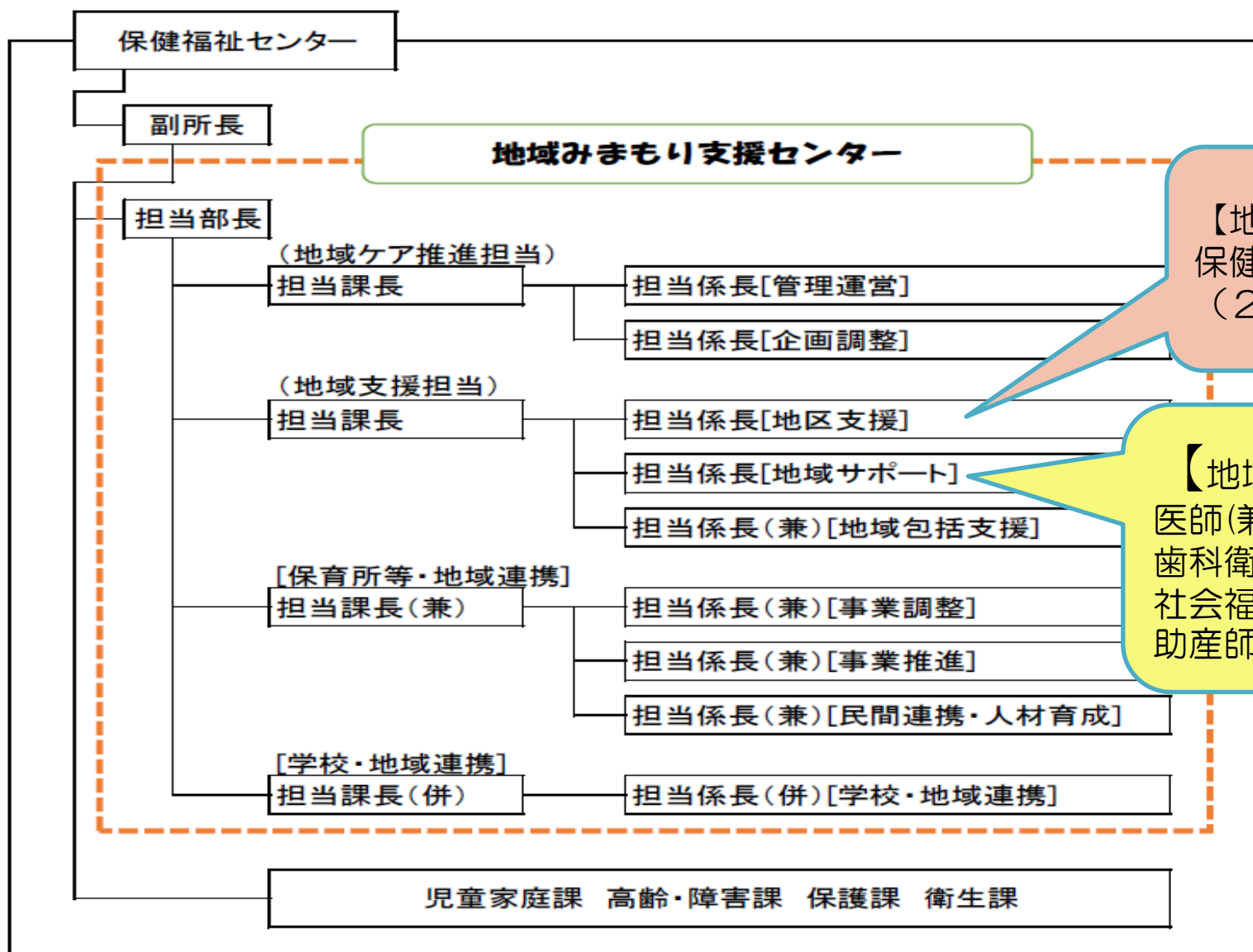
●地域支援担当：子ども・子育てに関する相談支援、母子保健の相談・手続き・窓口

●児童家庭課：保育所入所申請、児童扶養手当、母子父子寡婦福祉資金貸付等

〔高齢・障害課と衛生課においても一部所管事務の変更あり〕



# 地域みまもり支援センター組織図



【地区支援】  
保健師だけの係  
(2つの係)

【地域サポート】  
医師(兼)・歯科医師  
歯科衛生士・栄養士  
社会福祉職・心理職  
助産師 (1つの係)

# 保健師の状況

◆ 平成28年4月から地区担当制、一部業務分担制

◆ 全市 192人

20代 : 29人    30代 : 83人    40代 : 54人    50代 : 26人

20代～30代が約6割

◆ 平均年齢 41、3歳

◆ 内訳 ・部長級        3人

・課長級        12人

・係長級        42人

・係員            135人

◆ 地域みまもり支援センターの地区担当保健師受持ち人口は、地域の実情に応じて3万人程度を目安に2名体制

◆ 区役所に設置された地域みまもり支援センター地域支援担当に、大半の保健師が配置されている。若い世代が多く73%は地区担当制未経験。

◆ 新任期の育成を担う指導保健師も地区担当制の経験が少ない(26人中20人が未経験)

◆ 地区担当制への移行にともない同一部署に配置される保健師の層が厚くなるため、日常業務の中でOJTによる人材育成の充実が見込まれ、平成27年度まで配置されていた保健師人材育成担当課長を平成28年度から配置していない。

◆ 現体制での人材育成のあり方について検討中

# 保健師の配置

H29.4.1 現在

- ◆総務企画局 4人(課長1 係長2)
- ◆環境局 1人(係長)
- ◆健康福祉局 18人(課長3 係長6)
- ◆こども未来局 8人(部長1 課長1 係長3)
- ◆区役所 160人
  - 地域みまもり支援センター(部長2 課長4 係長20)
  - 地区健康福祉ステーション(課長1 係長3)
  - 高齢・障害課、衛生課(課長2 係長6)
- ◆教育委員会 1人(係長)



# 保健師の年齢構成



# 中原区役所地域みまもり支援センター 保健師の地区担当表

地区	担当保健師	町名	小地区別人口	世帯数	0～4歳児人口(割合)	65才以上の人口(割合)
大戸地区	2人	上小田中1～3丁目、新城	31,562	10,514	1,677 (5.3%)	4,636 (14.6%)
		新城中町、上新城、下新城				
	3人	宮内 上小田中4～7丁目	22,146	10,598	1,092 (4.9%)	3,714 (16.8%)
		下小田中1～6丁目	25,034	11,927	1,372 (5.5%)	2,808 (11.2%)
小杉地区	2人	小杉1～3丁目 小杉御殿町 小杉陣屋町 等々力	44,569	10,438	1,050 (5.5%)	3,197 (17.6%)
	2人	今井上町、今井西町 今井南町、今井仲町 市ノ坪		11,960	1,454 (5.9%)	3,616 (11.2%)
丸子地区	2人	新丸子東 上丸子山王町 丸子通、上丸子天神町、新丸子 上丸子八幡町	28,124	16,040	1,386 (4.9%)	3,952 (14.0%)
玉川地区	2人	中丸子 上平間、北谷町、田尻町、下沼部	34,347	16,710	1,950 (5.7%)	5,903 (17.4%)
住吉地区	2人	井田、井田中ノ町 井田杉山町	36,629	18,557	1,852 (5.1%)	5,762 (17.9%)
		井田三舞町、木月大町 木月伊勢町、木月祇園町 木月1丁目、木月3丁目				
	2人	木月2丁目、木月4丁目 木月住吉町、苺宿、西加瀬	20,827	11,648	831 (4.0%)	3,672 (17.7%)

# 平成28年度「川崎市保健師人材育成 基礎調査」より

目的：保健師の意識変化を明らかにし、保健師  
の人材育成体制における意見を把握し、  
実態に即した人材育成を推進する基礎  
資料とする

期間：H29.3.13～3.31

対象：保健師169人（任期付職員含む）

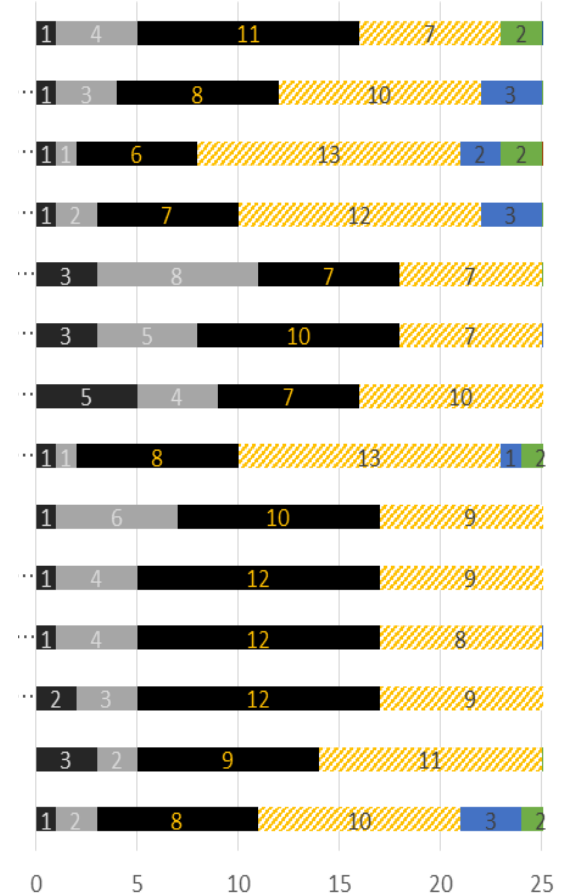
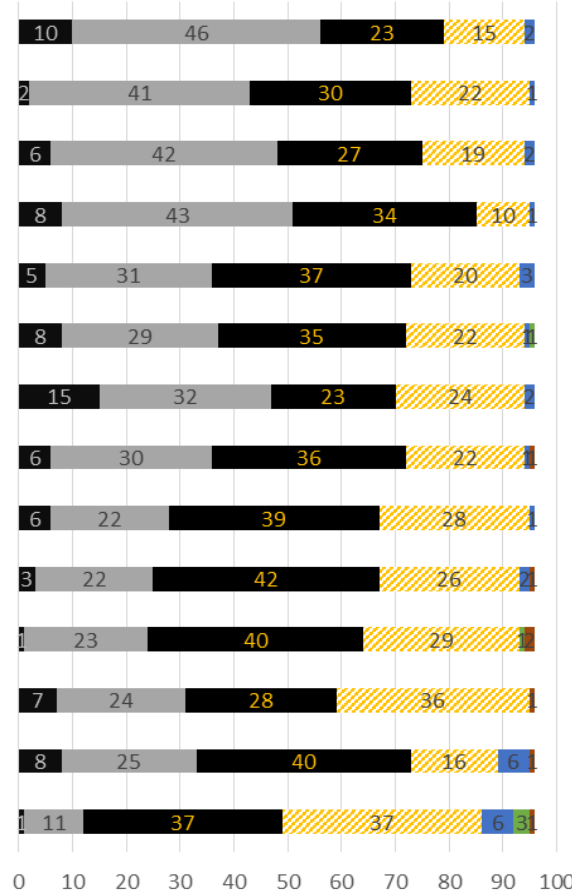
回収率：90.5%（153人が回答）

# 所属別の意識変化の比較

地区支援担当の意識変化（96名）

地区支援担当以外の意識変化（26名）

- 1 地域包括ケアシステム構築に対する認識
- 2 「個別支援の強化」と「地域力の向上」の関係性についての認識
- 3 地区担当保健師としての姿勢・役割についての意識
- 4 町内会や各種団体のキーパーソン等との関係づくりに対する認識
- 5 医療機関等の関係機関との関係づくりに対する認識
- 6 多職種連携による対応の必要性と方法に対する認識
- 7 同僚や先輩・後輩とのコミュニケーションの重要性に対する認識
- 8 地域での情報収集や課題把握の必要性と手法に関する理解
- 9 個別支援における関係構築に関する知識・スキル
- 10 対象の特性に合わせた支援や保健指導等の専門知識・スキル
- 11 課題の共有や対応策の検討における庁内外の調整スキル
- 12 上司への報告・連絡・相談等を基盤に組織的に対応する認識
- 13 文書事務・財務会計事務に関する理解
- 14 保健師人材育成の新たな育成体制に関する理解



かなり高まった
  高まった
  やや高まった
  昨年と同様
  やや低下した
  低下した
  かなり低下した
  NA

(人)

(人)

# 平成29年度 階層別研修アンケート結果より

## <新任期>

- ・他の事例対応がきけてよかった
- ・個別支援を続けながら地区診断もしたい
- ・事例検討を丁寧にすることで学びが深められる

## <2～4年目>

- ・個別支援におわれている
- ・地域に出向き実際に見て感じて、質的データを収集することが大事だと思った
- ・地区ごとに事例や地区活動を話し合うことで、理解が深まっている。

# 地域支援担当として感じていること①

- 地域包括ケアシステム構築に向けて、地域づくりの意識が高まってきた
- お互いに相談しあったり、話し合う機会が増え一緒に取り組もうという意識が強くなった
- 地域に愛着を持つ発言が聞かれるようになった
- モデルとなる保健師の存在を身近に感じられるようになった

# 地域支援担当として感じていること②

## 課題

- ・ケースマネジメント力
- ・地域をマネジメントするスキル
- ・地域づくりを展開していくイメージ  
(地域の人たちと協働するイメージ)
- ・多職種や他部署との連携
- ・業務の効率化

ご清聴ありがとうございました



写真提供：中原区まちづくり推進委員会